



令和2年度口加高校キャッチフレーズ

輝こうか! 君も口加で Realize Your Dream!

第26代
竹嶋潤一 校長

「職業」

天高く馬肥ゆる秋 空が澄み渡り気持ちのいい毎日です。馬がどうなのかは身の回りにいないのでわかりません。ただ、我が身が食欲の秋に乗じて更に「肥ゆ」ことのないよう願うばかりです。高校生の就職試験は、例年より一月遅れ今月解禁となりました。求人状況は昨年同時期ほど好ましくないようです。卒業後すぐに社会人となる全国の3年生が、希望する職業に就けることを心から祈念しています。

さて、少し前になりますが、昨年度小学校を卒業した子どもを対象にした将来就きたい職業のアンケート結果を新聞で見ました。男子はスポーツ選手、女子は保育士が1位でした。男女ともに医師や薬剤師が昨年より順位をあげ、その理由については「新型コロナウイルスの感染拡大を受け、人の役に立ちたいと考える子どもが増えた」と書かれていました。もっともだと思えます。しかし、その裏には人の役に立っていない職業もあるかのように感じてしまいます。言葉尻を捉えているようですが、「人の健康を守る仕事に就きたいと考える子どもが増えた」と書いてあれば、そうは感じなかったと思うのです。

我々は社会の中で互いに支えあって生活しています。どの仕事をとっても、なくてよい仕事はありません。必要だからこそ仕事として成立しているはず。不要不急という言葉がありますが、「不急」ということはあっても「不要」ということはないと思うのです。スポーツ観戦、映画、観劇、コンサート、本など。多少待つことはできますが、欠かすことはできません。人生を豊かにするために不可欠なものです。スポーツ選手、俳優、演奏家、作家、そのような方々のおかげで我々は感動し、生き方を考えさせられます。人の生死に直結しているだけが人の役に立つ基準ではないと思うのです。長崎新聞の水や空の欄に、月に一度の新聞休刊日には、新聞の配達がなくてがっかりする少年の話が書いてありました。新聞配達という仕事もその少年の役に立っていることがわかります。それぞれの仕事に対して、またその仕事を担っている人に対して、我々は敬意を払うことを忘れてはいけいではないのでしょうか。

冒頭の「天高く馬肥ゆる秋」ですが、秋になると漢(中国)の北方で勢力を誇っていた騎馬民族の匈奴が、冬の食糧を確保するために南下して農村を襲撃していたため、「北の方から匈奴が肥えた馬に乗って略奪にくるから気をつける」という警戒のこぼれに由来するそうです。新型コロナとインフルエンザのダブルでの感染拡大、いわゆるツインデミックへの警戒が呼びかけられています。どちらのウイルスもマスクの着用、手洗い、三密の回避により感染の可能性は低くなります。油断せず継続していきましょう。

11月の主な行事予定

- 11/ 1 (日) ①②対外実力(記述) ③対外模試(M)
- 11/ 3 (火) 文化の日 ②対外実力(記述)
- 11/ 6 (金) 県高校駅伝競走大会(全校応援)
- 11/ 7 (土) 県新人戦(～8) 卓球
吹奏楽連合音楽祭(～8)
- 11/ 8 (日) GL・シオパーク高校生研究大会
- 11/12 (木) 校内弁論大会(LHR)
- 11/13 (金) 人生の達人セミナー・1～5校時45分授業
県総文祭(～15)・2年生創コース保育園訪問
- 11/14 (土) ③対外模試(M)(～15)
- 11/16 (月) 開校記念日(118周年)
- 11/20 (金) 期末考査時間割発表
- 11/21 (土) 中地区新人戦 バスケ
春高予選 バレー
- 11/23 (月) 勤労感謝の日
- 11/30 (月) 期末考査(～12/3)

共通テスト「100日前集会」

さる10月8日(木)、本校多目的教室において3年生共通テスト100日前集会が開催されました。1月16日(土)・17日(日)に実施される大学入学共通テストを受験予定の生徒35名(出願数は38名)が一堂に会し、100日後の本番に向けて、一丸となって学習に取り組む気持ちを確認し合いました。

本校校長や学年主任・担任団からの激励に加えて、1・2年生からの応援のメッセージが映像で映し出されると、生徒たちは感激するとともに、これからの決意を新たにしていました。最後は3年3組の川口奈々子さんが皆を代表して決意表明の挨拶をし、会を終えました。

この集会をきっかけとして、生徒達が残された貴重な1日1日を互いに励まし合いながら有意義なものとして過ごし、すばらしい成果を上げることを願っています。

福祉科

10月6日(火) 三軒屋公民館で「出張!口加げんき体操」を行いました。内容は、背伸び・前屈・足ふみ・グーパー運動・深呼吸を生徒の司会で行い、最後にアンケートを実施しました。

感想・次に活かしたいこと

初めて福祉科のメンバーで高齢者の方の為に実際に公民館をお借りして、体操を行うことが出来たので、楽しかったとしても良い経験になりました。

新型コロナウイルスの影響で体を動かす機会が減った方に、このような形で体を動かす機会を作って皆で楽しく体操を行えたことはとてもいいことだと思いました。

またやる機会があったら、今回の反省を活かしてもっと楽しい時間になるように工夫したいと思いました。

もっとこの体操を広めていきたいです。

普通科GLコース



10月10日(土)
第29回長崎県高等学校英語スピーチコンテスト
グローバルコース1年3組から井上祐斗くん、
照平凜星さんの2名が県のスピーチコンテストに
参加しました井上くんは“The Meaning of
Challenge”「挑戦することの意味」、照平さん
は“The Human Nature which Prevents Us
from Solving Problems ~We Can All Make a
Difference~”「問題から目をそらす人間の厄介
な性質~私たちみんなが変えられる~」というタ
イトルで堂々とスピーチを行いました。

10月14日(水)
アメリカの外交官と話そう~グローバルランチセ
ミナーfor Nagasaki youth~基調講演会
長崎県立大学が主催する、外交官セミナーにグ
ローバルコースの1、2年生がTeamsを用いた
オンライン形式で参加しました。コロナウイルス
感染拡大の影響で、海外の学生との交流などが実
施できない中できない、海外の視点から日本を見
てきた方のお話は、国際的な意識を高める貴重な
機会となりました。



普通科生活創造コース

10月6日(火)
生活創造コース3年保育園実習

午前中に若木保育園で保育実習を行いました。今回も子どもたちを楽しませようと“出しもの”を準備して臨みました。新型コロナ感染症の第2波が心配される中でしたが、お陰さまで、今回も無事に実施できました。

晴天の中、1時間ほど近隣の散策に出かけました。加津佐のまちは小道が多く、散歩を通して、子どもたちは、安全な道路の歩き方や挨拶の仕方を学んでいました。途中ドングリ拾いもでき、とってきたドングリを嬉しそうにポケットから出して、「はいプレゼント!」と笑顔でくれました。何気ない日常の心温まる瞬間でした。



各部活動の大会結果 <主な結果>

各部活動（運動部）の令和2年度長崎県高等学校新人体育大会（県新人戦）等の大会が下記のとおり開催されました。

| | | |
|------------|--------------------|---------------------|
| ○陸上競技部 | 10/16 (金) ~18日 (日) | 第38回全九州高等学校新人陸上競技大会 |
| ○卓球部 | 10/17 (土) ~18日 (日) | 中地区新人戦 |
| ○バレーボール部 | 10/17 (土) ~18日 (日) | 中地区新人戦 |
| ○ソフトテニス部 | 10/24 (土) ~26日 (月) | 県新人戦 |
| ○バスケットボール部 | 10/24 (土) ~26日 (月) | ウィンターカップ県予選 |
| ○放送部 | 10/18 (日) | 九コン地区大会 |

※主な結果は下記のとおりです。

陸上競技部

女子

○やり投 山崎絢音

祝!3位



卓球部

中地区新人戦

祝!団体2位



10月17日18日に諫早中央体育館にて、地区の新人戦が行われました。17日の個人戦では、選手全員が県大会出場を目指して試合に臨み、5名が県大会に出場することになりました。18日の団体戦では、一人ひとりが勝利に向けて一生懸命プレーし、見事、地区準優勝を達成しました。女子卓球部の目標は県ベスト4です。県大会に向けて、全員が一丸となって練習に励んでいます。応援をよろしくお祈りします!

ソフトテニス部

令和2年度県新人戦

男子

<団体戦>

2回戦 対 猶興館高校 1-2 負け

<個人戦>

瀬戸口・黒田ペア ベスト64

立石・大久保ペア ベスト64

個人戦の結果により男子は11月7日(土)に諫早で行われる団体選抜大会に参加できることになりました。



女子

<団体戦>

2回戦 対 大村城南高校 1-2 負け

<個人戦>

菅・宮崎ペア (1回戦敗退)

宇野・馬場ペア (2回戦敗退)

今回の大会で見つけた課題を1日でも早く克服し、次の大会では、もっと上位に行けるように日々の練習を頑張りたいと思います。

バスケットボール部

第73回ウィンターカップ長崎県予選

(男子) 口加45-60上五島 (1回戦敗退)

後半は少しずつリズムに乗ることができ、32-25と少し巻き返すことができました。

来月には地区の新人戦があるので、そこに向けて日々の練習に励みたいと思います。

(女子) 口加29-65長崎玉成 (1回戦敗退)

後半、競り勝つことができず、1回戦敗退という結果でした。11月の中地区新人大会に向けて頑張ります。

バレーボール部

令和2年度中地区新人戦

予選リーグ① 口加0VS2島原

予選リーグ② 口加0VS2創成館

パート決定 口加0VS1諫早商業 (予選敗退)

来月の春高予選でリベンジします。

放送部

九州放送コンテスト県央地区大会

【アナウンス部門】決勝進出 森島 采映 (2)・円口 愛子 (1) → 森島 采映 優良賞
 【朗読部門】決勝進出 立花 理紗 (2)・前田 陽花 (1) → 立花 理紗 優秀賞 (県大会へ)

全員練習の時以上の発表をすることができました。ご協力ありがとうございました。11月14日の県大会に向けてまたがんばります。

ALTエスター先生コーナー



ALT エスター先生

Japan vs South Africa: What makes us so different

South Africa and Japan are two very unique countries with colourful cultures and traditions. Some of the biggest differences can be seen in the following situations:

南アフリカと日本はどちらも多彩な文化や伝統を持ったとてもユニークな国です。最も大きな違いのうちいくつかは、次のような状況で見られます。

Sports(スポーツ)

Baseball is considered the most popular sport in Japan. In South Africa, however, the three most popular sports are rugby, cricket and soccer.

野球は日本で最も人気のあるスポーツだと考えられています。しかしながら、南アフリカでは、ラグビー、クリケット、サッカーの3つが最も人気があります。

薬物乱用防止講座

10月8日(木)7校時LHR体育館にて、1・2年生対象に島原警察署のスクールサポーターの福田寛二様に来校していただき、薬物乱用防止教室を実施しました。

(生徒感想)

今回の講話では、薬物乱用という言葉の意味や使用した場合にどのようなことが起きてしまうのか、誘われた際の断り方などわかりました。

私たちがこれから生きていく社会は、情報化やグローバル化が更に進むと考えられます。もちろん進学や就職等で都会に出ていく人もいますが、それ以外でも「田舎にいるから大丈夫」という考えを持っていると危険な目にあるかもしれません。そのようなことにならないように日頃から、正しいことを見極める力をつけていきたいと思えます。(生徒会長 立花理紗)



「口加高校NIEエコバッグ地域社会実験スタート!」

本校はNIE(新聞を活用した教育活動)を展開していますが、多量に残った新聞紙でエコバッグを生徒たちが製作し、地域の店舗に無料配付し、その店舗で活用していただくという地域社会実験をスタートさせました。

福祉科生徒全員で新聞紙エコバッグづくりを先日スタートさせました。今後製作したバッグは、協力していただける地域のお店に無料配付し、お店のスタイルに合わせて活用していただく予定です。「口加の効果」が出るのか、乞うご期待!(理科 門崎克典)



中華料理店「華豊」(加津佐町)の店舗入口に展示されているお店紹介の掲載記事が表に見えている口加高校NIEエコバッグ[以前提供]



福祉科1・2年合同による口加高校NIEエコバッグの製作風景

